

「津別町新水道ビジョン（案）」に係るパブリックコメントの結果について

意見の募集期間 平成29年11月20日から平成29年12月19日まで

意見の提出者数 1名

意見の件数 2件

所管担当 建設課水道グループ

津別町新水道ビジョン（案）に係るパブリックコメントを平成29年11月20日から平成29年12月19日まで実施し、1名の方から2件のご意見、ご提案をいただきました。

お寄せいただいたご意見等についての「町の考え方」を次のとおり公表いたします。

No	ページ	意見等の概要	町の考え方	計画への反映
1	21	事業の健全性、効率性を示す表の見方をわかりやすく解説してほしい。	今回ご意見をいただいたものはホームページ閲覧用の概要版です。本編には用語の解説等を記載しておりますので、ご了承願います。	概要版においても本編同様に用語の解説等を記載します。
2	22	公共事業の基本となる「低廉」を理想として追いやっているが、持続、強靱を強調しても低廉は必要。人口減で公共料金が高くなるなら、津別に住めなくなる人が増え、ますます値上げという悪循環が起こるのではないか。また、豊富な津別の水を、当町のみならず、国内外の災害支援用として多量の水を保存活用すべきではないか。	本ビジョンは第5次津別町総合計画との整合を図りながら、水道事業の現状と課題を明確にし、平成38年度までの10年間の経営や基本的な考え方など水道事業の長期的な方向性を示すものです。50年先を見据えた津別町水道事業の基本理念を掲げ、基本方針を「持続」、「安全」、「強靱」の3つに区分し、目標	施設の更新や統廃合については、今後、一定の方向性が定まりましたら地域や団体等に提案し、進めていきます。

			<p>設定と実現方策を示しています。「低廉」に関しましては、施設更新の際のダウンサイジング（コスト削減）と、アセットマネジメントによる中長期的な更新需要等を見定め、資産維持に努めること、また、有収率を上げるため、漏水対策を行い、水道経営状況を向上させるよう示していますので、ご了承願います。災害支援については、日本水道協会道東支部にて支援協定を締結しており、有事の際には町が保有する給水タンクにて給水活動支援を行っておりますことをご理解願います。</p>	
--	--	--	---	--